

研究者探索の仕組み構築と課題への対応

8月29日 (火) 15:15-16:45 会場H (3階)

大学などでの研究者の研究環境を安定化し、新たな研究領域を開拓するためには、国の競争的資金や企業との共同研究費など外部資金の獲得は極めて重要である。特に、大型の外部資金を申請する場合、単科大学や大学院における研究領域の限界、総合大学でも対象とする研究領域における研究者のエフォート率の不足などで、連携する研究者を見つけ出すのが困難な場合がある。

本セッションでは、連携する学内外の研究者を探索するための仕組みや事例の共有化、さらに外部資金獲得を推進できるURAの育成方法などについて討議する。

オーガナイザー / 司会者



森倉 晋 : 電気通信大学 研究戦略統括室 統括URA

1983年三重大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了、同年松下電器産業(株)(現パナソニック(株))に入社、2009年大阪大学大学院基礎工学研究科博士課程修了、博士(工学)、2014年4月に電気通信大学に着任、現在同大学研究戦略統括室(兼)産学官連携センター(兼)国際戦略室、統括URA。専門分野は光通信システム工学



馬場 忠 : 筑波大学 生命環境系 生命環境科学研究科
生物機能科学専攻 教授 / 学長特別補佐
/ URA研究戦略推進室 室長 / 主席URA

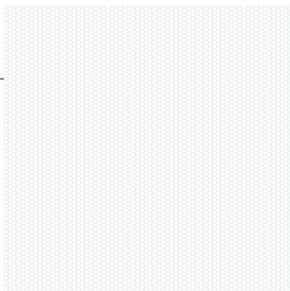
1983年筑波大学大学院農学研究科博士課程修了(農学博士)、日本大学松戸歯学部助手、筑波大学応用生物化学系講師、助教授を経て1998年より教授(生命環境系)。途中、厚生省国立予防衛生研究所協力研究員、オクラホマ医学研究所研究員、ペンシルバニア大学医学部客員教授、韓国インジェ大学特別顧問教授。筑波大学研究戦略室長、学長補佐などを歴任し、現在は学長特別補佐とURA研究戦略推進室長を兼務。

講演者



森本 茂雄：科学技術振興機構 研究開発改革推進部 部長

JSTにて、基礎的研究支援（さきがけ、CRESTなど）、研究成果展開および産学連携支援（A-Step、START、Sイノベなど）、国際共同研究支援（ICORPなど）、拠点型研究開発支援（COI、イノベーションハブ）など、主に研究開発ファンディング業務に従事。平成29年度からは、「未来社会創造事業」の発足を担当。



田中 亜希子：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 企画戦略グループ リサーチ・アドミニストレーター

TLOのライセンスアソシエイト、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）産業技術コンダクターを経て、2012年名古屋大学URA室に着任。2013年経済産業省へ出向、2015年より現職。名古屋大学の学術研究・産学官連携に関する戦略立案、研究プロジェクトの形成を支援。

Memo